

# 第1次総合計画

## 成果指標 評価調書一覧

平成20年度～23年度

# 第一次総合計画 成果指標評価結果一覧表

## 資料4-2

	評価					施策数 合計
	A	B	C	D	E	
<b>第1章 創意に満ちた活力ある産業のまちづくり</b>						
第1節 果樹・農林業	3		1			4
第2節 ワイン産業			1	1		2
第3節 観光・交流	1	1				2
第4節 商工業		1	1			2
第5節 雇用・勤労者福祉		1	1			2
<b>第2章 健やかに心ふれあう健康・福祉のまちづくり</b>						
第1節 子育て支援	4					4
第2節 健康づくり	2	1	1			4
第3節 医療	1					1
第4節 地域福祉	2	1				3
第5節 高齢者施策			3			3
第6節 障害者施策	2		1			3
第7節 社会保障	1	1	1			3
<b>第3章 快適で安心して暮らせるまちづくり</b>						
第2節 市街地	1	1		1		3
第3節 景観形成	1					1
第4節 道路・交通網	1		1	1		3
第5節 住宅・宅地	2					2
第6節 地域情報化	2	1				3
第7節 治山・治水	1					1
第8節 消防・防災	1				1	2
第9節 交通安全・防犯	1	1				2
第10節 消費者対策	1					1
<b>第4章 自然と共生する環境保全のまちづくり</b>						
第1節 環境保全	1					1
第2節 環境衛生		1				1
第3節 水道	1					1
第4節 下水・排水処理対策	1		1			2
<b>第5章 心豊かに人を育む教育・文化のまちづくり</b>						
第1節 幼児・学校教育	2		1			3
第2節 青少年健全育成			1			1
第3節 生涯学習		1	1	1		3
第4節 生涯スポーツ	1		1			2
第5節 地域文化			1	1		2
<b>第6章 ともにつくる参画と協働のまちづくり</b>						
第1節 協働のまちづくり		1	1			2
第2節 地域活動		1				1
第3節 男女共同参画・人権の尊重		2				2
第4節 自治体経営	2	1				3
計	35	16	18	5	1	75
全体に占める割合	47%	21%	24%	7%	1%	

○評価方法は下記の5段階評価となっています。

- A: 順調に推移
- B: やや低調な推移
- C: 目標設定の変更の必要あり
- D: 低調な推移
- E: その他

第1章 創意に満ちた活力ある産業のまちづくり

第1節. 果樹・農林業

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	農業粗生産額	千万円	1,106	970	1,110	C	J Aと連携しトップセールスを実施し、販売促進に努めました。 高品質、高価格、低コストの農産物の栽培。	産業振興
2	認定農業者数	人	182	192	192	A	新規認定農業者の認定者数の増加に努めました。	産業振興
3	農地流動化・利用集積面積	ha	22	28	25	A	周知に努め、利用集積の促進を図りました。	産業振興
4	森林間伐面積	ha	10	39	16	A	県、峡東森林組合事業も導入し間伐に努めました。	産業振興

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第2節. ワイン産業

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	ワイン振興事業への参加者	人	5,000	6,000	10,000	C	ワインを愉しむ会・ワインセミナーの開催。 認証ワイン啓発イベントの開催。	産業振興
2	ワイン専用ぶどうの栽培面積	ha	75	—	100	D	契約栽培に対する補助金、苗木の配布事業を行なった。	産業振興

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第3節. 観光・交流

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	観光入込客数	人/年	2,974,000	2,935,415	3,353,000	B	自然、文化歴史、温泉、物産直売所、行祭事など、市内の観光地や施設に、来客の利用状況を調査しました。主な減少要因は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響によるものと考えます。これは、イベント等の開催の自粛による影響もあると思われます。	観光交流
2	観光ボランティアガイド数	人	25	38	37	A	毎年度ボランティア養成講座を実施し全体のガイドの数を増加させています。 特に平成22年度には、宮光園開園に伴い新たに宮光園を中心に活動するボランティアガイドを養成したため、ガイド数が増加しました。	観光交流

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第4節. 商工業

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	年間商品販売額 (H16)	万円	3,206,937	3,280,000		B	甲州市融資制度（甲州市商工振興資金）の活用 セーフティネット認定作業の迅速化	産業振興
2	製造品出荷額等	万円	4,670,930	3,130,000		C	甲州市融資制度（甲州市商工振興資金）の活用 セーフティネット認定作業の迅速化	産業振興

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第5節. 雇用・勤労者福祉

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	労務改善協議会への参加企業数	社	33	34	44	B	優良従業員表彰制度の周知。	産業振興
2	シルバー人材センターの登録者数	人	214	211	300	C	高齢者の雇用の場を拡大するべく、ハローワーク等関係機関や 企業との連携を図り、雇用促進を目指すものです。	産業振興

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第2章 健やかに心ふれあう健康・福祉のまちづくり

第1節 子育て支援

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	放課後児童健全育成事業	箇所	12	13	13	A	共働きなどにより昼間親がいない家庭等の児童を対象として、放課後や学校休業日（長期休暇など）家庭に代わる生活の場を与えて健全な育成を図るものです。	子育て対策
2	児童館・児童クラブ利用者数	人/年	59,844	70,900	63,000	A	小学校1年生から3年生までを対象として利用しています。登録人数に余裕があるクラブは対象を4年生以上にも広げて対応しています。	子育て対策
3	子育てサークル（育成支援）	団体	8	12	10	A	未就学児とその保護者を中心となり、交流を深めたり、情報交換や悩みを相談する主体的なサークルと子育て支援者を中心となり、子育て中の親子が集える場の提供や子育て経験を生かした支援を行うサークルがあります。これらの自主的な活動に対し、掛かる経費の1/2（上限4万円）を補助し、負担を軽減しています。 平成23年度では、子育て中の保護者を中心とするサークルが3団体、支援団体によるサークルが1団体、民生・主任児童委員による子育てサロンが7団体になっており、目標は達成していますが、子育て中の保護者は主体的な活動から受身的な支援を必要とする傾向に変わってきていると考えます。 子育てに対する支援が増える中、子育てサークル以外にも子育て中の親子が集い交流できる、また子育て情報を提供し相談窓口となる場が増えてきています。 平成23年度には既存のサークルに対し、継続的に補助していけるよう要綱を改正しました。 平成24年度は「すくすく学級」時に、サークルの新設を促すチラシを配布してもらえるよう、健康増進課へ依頼しています。	子育て対策
4	ファミリーサポートセンター事業	箇所	0	1	1	A	子育ての援助を必要とする「依頼会員」と子育てを援助することのできる「協力会員」をコーディネートし、地域ぐるみでの子育て支援を行っています。 平成21年度に開設し、広報等を行いながら少しずつ市民の方の理解、利用をいただいています。 民生委員主任児童委員、保育所、保健師、家庭相談員、児童センター等、子ども・子育てに携わる機関の協力を得て、平成24年3月末には総会員数が100名となり、平成23年度の活動件数は134件となりました。 平成24年度には、依頼会員が利用しやすくするため、市より利用料金の助成を行うこととなりました。 今後も子育て支援に係る機関と連携しながら、援助を必要としている支援していきます。	子育て対策

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第2節. 健康づくり

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合	%	25.0	21.7%	15.0	A	総合健診結果説明時、特定保健指導を実施し生活習慣を振り返る中で保健師・栄養士が改善ポイントをアドバイスし、個人が取り組める目標を自ら選択・実践。その後手紙等で継続支援しています。またメタボ改善教室・ウォーキング教室への参加を促し支援を行いました。個人が取り組む内容を決める支援が数値の減少につながったと思われます。	健康増進
2	毎日野菜を食べている人の割合	%	65.7	60.7	90.0	C	H18年度は総合健診受診者の調査値（年代にばらつきと偏りあり）でH23年度は無作為抽出した市民調査値であることから数値比較は難しいが、H23年度調査値を年代別にみると、食生活改善推進員と協働し地域で野菜料理や「手ばかり」の紹介を実施した年代層（40歳代以上）では増加していることから、活動の成果は上がっていると推測されます。今後は若い世代への働きかけが課題であります。	健康増進
3	乳幼児健診受診率	%	80.0	96.7% (全健診)	100.0	A	H23年度実績 3ヶ月児健診：99.6%、7ヶ月児健診：97.3%、1.6ヶ月児健診：99.5%、2歳児健診：93.3%、3歳児健診：96.5%、5歳児健診：94.5% ※ 健診未受診者へは、受診勧奨のハガキの送付の実施のみならず、個別に地区担当保健師より連絡をし、こどもの成長発達の確認ができるよう健診受診を勧めてきました。	健康増進
4	育児学級参加率	%	47.0	48.3	80.0	B	初産婦の参加率：55.0% 経産婦の参加率：48.2%となっています。周知方法は広報、出生届時、新生児・乳児訪問時、乳児健診時等で勧めています。初産婦の半数以上は学級へ参加していますが、第2・3子出産の経産婦にも兄弟への関わり方や病気や事故予防、変化していく制度、子育て全般について学ぶ機会として今後も参加を勧めたいと思います。	健康増進

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり d：低調な推移 e：その他

第3節. 医療

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	地域医療施設の充実や救急体制の満足度	%	36.7			A	医療体制は県保健医療計画に基づき整備されています。市では、勝沼病院の指定管理者制度の再指定、大藤診療所の常勤医師の確保を行いました。救急医療体制においては、東山医師会の協力のもと休日夜間救急診療体制の強化に努めました。23年度においてはアンケート調査を行わなかったため、実績値はありませんが、一般診療所数は2施設増加し、医療機関は充実してきております。	健康増進

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第4節. 地域福祉

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	福祉ボランティア団体数	団体	17	20	20	A	ボランティア活動の推進に努めています。社会福祉協議会のイベントに協力をいただいています。またボランティア連絡協議会を中心に、ボランティアグループ育成等に努めました。	福祉介護
2	社会福祉協議会ボランティア登録者数	人	241	268	300	B	ボランティア連絡協議会を中心に会員登録を行っており、各種社会福祉協議会のイベントにボランティアとしてお手伝いをいただいています。	福祉介護
3	いきいきサロンの設置数	箇所	6	25	15	A	住民参加による高齢者福祉の推進として地域のコミュニティーを大切にすることを目的に地区単位に設置しています。開催回数により社会福祉協議会から、補助金を支給しています。	福祉介護

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第5節. 高齢者施策

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	介護サービスを受けている人の割合（居宅、施設）	%	11.4	13.9	↓	C	高齢者が住み慣れた地域において、自立した生活を継続できるよう、介護予防ケアマネジメント事業・総合相談事業・介護者支援事業など包括的支援事業を実施します。	福祉介護
2	要介護認定者の割合（65歳以上）	%	13.7	15.7	↓	C	高齢者の生活機能の低下を未然に防止し、さらに維持向上させるための介護予防事業を実施します。	福祉介護
3	一般高齢者介護予防事業参加割合（65歳以上）	% (人)	10.0 (973)	8.9 (771)	↑	C	地域で自立した生活を送っている高齢者を対象に転倒骨折予防教室、認知力低下予防教室、お口の健康づくり教室等を開催し要介護状態に移行することを予防していくよう支援します。	福祉介護

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第6節. 障害者施策

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	福祉施設の入所者の地域生活への移行による削減	人	41	6	37	A	障害者施設の入所者が本人の望む暮らしを実現するために、地域でのサポートを拡充させ、施設から退所させ、もって施設の定員数を削減することを目的としています。	福祉介護
2	入院中の退院可能精神障害者の減少	人	9	11	0	C	退院が可能であるにも関わらず、退院後の住まいがない精神障害者について地域でのサポートを拡充し、退院させることにより、良質の精神科医療が提供できる体制を目指します。	福祉介護
3	福祉施設から一般就労への移行	人	0	3	4	A	働く能力があるにも関わらず、適切に就労できる場がない方に対して、就労支援を進めることにより福祉施設の利用から一般就労に移行できるよう支援します。	福祉介護

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第7節. 社会保障

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	国保税収納率	%	93.0	92.8	93.5	B	他の税目と同様に財産の差押さえ処分を中心とした滞納整理を積極的に行いました。又、資格証、短期証等滞納者への保険証発行についてペナルティーを科することで納付に結びつけています。コンビニエンスストアにおける収納についても着実に利用実績を上げ、納付しやすい環境にしています。徴収額は、前年度比調定減にもかかわらず増収しました。	収納
2	特定健康診査の実施率	%	-	42.9	65	C	①国保保健事業（国10/10助成）により未受診者対策を実施②大学等の協力を得分析し対策の構築③地区組織（保健環境委員会）の活性化により地域への啓発④国保人間ドックの年齢拡大・毎年度受診可能とした⑤個別医療機関健診受け入れ医療機関の開拓拡大等にとりくみ対前年比6.3%の受診率増加	健康増進
3	特定保健指導の実施率	%	-	76.1	45	A	集団検診においては直営で特定保健指導を実施しています。2人間ドック機関に特定保健指導（動機付け）を委託契約をし実施しており、特定保健指導実施率は目標を達成しています。	健康増進

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第3章. 快適で安心して暮らせるまちづくり

第2節. 市街地

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	公園や子どもの遊び場に関する満足度	%	21.7	-		B	市民の健康増進や憩いの場、さらには人と人とのふれあいやコミュニケーションを図る空間として、大きな役割を果たしており、安全安心の観点から施設の点検や樹木の管理、定期的なパトロールを行い、市民の満足度が向上する公園緑地の管理を行っていきます。	都市整備
2	住民と協働で管理している公園	箇所	5	5		D	市民の健康増進や憩いの場、さらには人と人とのふれあいやコミュニケーションを図る空間として、大きな役割を果たしており、住民からの意見や要望の把握やそれへの対応を行い、協働への関心が深められ同じ視点で管理ができるよう働きかけを行います。	都市整備
3	都市計画道路整備延長	m	6,579	9,884	7,139	A	都市機能の充実と都市の形成を目的とし計画・整備について理解を図ってきた結果、目標値を上回る結果となった。今後は、現行都市計画道路の整備継続と見直しも含め、更なる機能的なまちづくりを推進していく。	都市整備

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第3節. 景観形成

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	居住地区のまち並みが良好だと感じている市民の割合	%	-	22		A	平成23年度に実施したアンケート結果では、甲州市の景観に付いて、「概ね良好」が22%、「良いところもあるが、悪いところもある」が64%という結果になっています。今後景観計画を着実に推進する中で、「良好」の選択率を高めていきます。	政策秘書

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第4節. 道路・交通網

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	市道の改良整備状況	m	107,295	209,700	109,000	A	H18年に合併に伴う市道・農道の路線の全面見直しを行ったため、見直前：107295m、見直後：170515mとなりました。主な内容としては、下萩原22号線については全線開通、下塩後22(下於曾41)号線については、東1工区を平成24年度末に完成予定、引続き、東2工区の整備準備を行う。その他生活道路の改良については、地元からの整備要望申請に基づき順次整備を行いました。	建設
2	市道の 신설、改良に伴う歩道整備状況	m	25,469	21,604	26,500	D	H18年に合併に伴う市道・農道の路線の全面見直しを行ったため、見直前：25469m、見直後：18932mとなりました。下塩後25号線については、歩道用地の交渉中、下塩後22(下於曾41)号線については、東1工区を平成24年度末に完成予定です。	建設
3	市営バスの利用者数	人	175,000	149,285	200,000	C	平成23年11月からデマンドバスの実証運行を開始し、甲州市の公共交通体系を根本から見直すための基本計画である、「甲州市公共交通総合連携計画」に着手しました。平成24年度については、利用人数と目標値が乖離しているため、財政当局と協議しながら利用料金、路線の見直しを実施するなかで、市民に利用しやすいバス運行を目指していきます。	市民生活

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第5節. 住宅・宅地

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	市営住宅耐震化率	%	80.0	100.0	85.0	A	昭和56年6月の建築基準法改正以前に設置された市営住宅のうち長寿命化計画に使用していく住宅として明記されているのは、上塩後住宅のみで、この住宅に対する耐震診断は平成12・13年度に実施し、耐震強度はであると判定されています。また、住宅供給公社から購入した赤尾住宅についても耐震強度はあるとの報告があるため100%の実績となります。	建設
2	木造住宅耐震診断・改修事業	戸	23	271	143	A	合併以前の平成15年度から昨年まで264件耐震診断とその評価を元に行う耐震改修が7件を実施しました。平成24年度は新たに耐震設計を補助対象に加え、診断・設計・改修と一連の事業として実施できることとなりました。	建設

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第6節. 地域情報化

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	日常生活でインターネットを活用している市民の割合	%	36.9			B	市独自によるアンケートは未実施であるため、数値は地元CATV等から聞き込みによるもの。情報社会の到来により市民生活にインターネットが欠かせません。	政策秘書
2	市のホームページを見たことがある市民の割合	%	26.4	45.6		A	市独自によるアンケートは未実施であるため、数値はHP委託業者からの報告によるもの。多様化する利用者ニーズを的確に対応するため、職員間で研修した成果であります。	政策秘書
3	住基カード所有者数	人	127	8,307	10,300	A	広報・ホームページ等に掲載したり、窓口で住基カードの利便性を周知してきましたが、さらに、金融機関等に出向き、多くの方に住民基本台帳カードの交付を促進したいと考えています。	市民生活

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第7節. 治山・治水

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	準用河川及び小河川の整備箇所	箇所	40	45		A	平成18年以降随時小規模河川、水路の改修、修繕を実施していますが、老朽化した小河川も多数あり地元と協働管理し長寿命化を目指しながら環境整備を実施します。	建設

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第8節. 消防・防災

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	非常備蓄食料の確保	食	12,000	23,750	20,000	A	毎年度予算の範囲内で、アルファ米を購入し備蓄を進めています。保存期間に期限があるため、計画的に更新していく必要があります。	総務
2	普段から災害に備えている人の割合	%	42	—	50	E	地域や行政が主催し、計画的に防災訓練を実施するとともに、広報等を通じて防災意識を高める計やつ活動を実施しています。東日本大震災を経て、防災意識は高まっていると認識していますが、アンケート調査等未実施のため、数値は把握していません。	総務

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 E：その他

第9節. 交通安全・防犯

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	交通安全教室回数	回	221	223	250	B	各保育所・保育園・幼稚園では、月別指導内容に沿って毎月開催し、小学校においては、自転車・歩行・登校班長指導及び「夏休み前ミニ教室」等を行いました。	市民生活
2	交通事故総件数	件	742	671	700	A	交通弱者（幼児・高齢者）にたいしての交通安全教室での指導を行い、ドライバーにたいしては安全運動中において、街頭での啓発活動を行いました。	市民生活

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第10節. 消費者対策

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	消費者からの相談件数	件	35	81		A	窓口相談に来た住民に対しては、職員が直接アドバイスしたり、県民生活センターを紹介しました。毎月1回の相談会では行政書士による相談も受け付けました。	市民生活

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第4章 自然と共生する環境保全のまちづくり

第1節. 環境保全

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	市内に排出される温室効果ガス(CO2)総排出量	(kg-CO2)	—	—		A	温室効果ガス(CO2)については、甲州市全体の総排出量の算定が困難であり、平成23年度の実績値を示すことが出来ない状態にあるが、大震災後における甲州市全体の節電等の取り組みやその効果を勘案すると、CO2の排出量は削減されたと思われます。今後も、市民や事業者で尚一層の削減の取り組みを継続して推進していきます。	環境政策

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第2節. 環境衛生

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	リサイクル率	%	27	26	28	B	平成23年度のリサイクル率は26%で、平成18年度より若干下がってはいますが、ほぼ横ばいの結果になっています。今後についても、環境基本計画を着実に推進する中で、リサイクル率を高めていきます。	環境政策

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第3節. 水道

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	水道普及率	%	96.4	97.9		A	自家水から水道水への加入促進を図ると共に、水道未普及地域の解消を目的とし、地域水道の簡易水道への統合を今後も順次推進します。	水道

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第4節. 下水・排水処理対策

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	公共下水道普及率	%	44.6	52.6	52.0	A	広報活動、戸別訪問による啓蒙普及活動、アンケート調査等の実施をしました。	都市整備
2	浄化槽（合併）処理人口	人	1,720	1,721	2,200	C	広報活動、戸別訪問による啓蒙普及活動、アンケート調査等の実施をしました。平成19年度より市町村設置型合併浄化槽事業実施し現在146基設置しています。（人口減）	都市整備

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第5章 心豊に人を育む教育・文化のまちづくり

第1節. 幼児・学校教育

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	甲州子ども安心・安全ネット登録数	人	713	2,300	5,000	C	不審者情報、熊・猪等の出没情報を保護者や学校関係者にメールで知らせる事業です。	教育総務
2	学校施設耐震化率	%	69.09	87.27	100.00	A	昭和58年以前の建築基準で建築された校舎や屋内運動場を耐震診断し、基準値以下の建物を耐震補強する事業です。	教育総務
3	小中学校教育が充実していると感じる保護者の割合	%	-			A	確かな学力育成プロジェクト委員会において検討を進めています。	教育総務

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第2節. 青少年健全育成

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	地域での青少年育成活動への参加者数	人	-	-		C	道路清掃や地域行事への参加など地域の育成会活動や、球技大会など子どもクラブ活動への参加などに取り組みました。	生涯学習

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第3節. 生涯学習

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	生涯学習講演会参加者数	人	900	1,035	1,500	B	市民一人ひとりが自発的に学ぶことができる身近な題材を基にした講習会や、地域の住民が一体となって参加できる講演会などを実施し、生涯学習活動の充実を図りました。	生涯学習
2	中央公民館利用回数／人数	回／人	2,503/67,087	1,762/56,069	3,200/77,000	C	平成23年度各種自主事業・教室は一定の参加人数が見込めました。今後は一般の貸館人数を増やすよう生涯学習の場として生涯学習課を挙げて取組んでいきます。	生涯学習
3	一人当たりの貸出冊数（20歳以上）	冊	8	8	12	D	本を起点としたコミュニケーションを活発化させるべく、お話会やイベントに力を入れました。保育園や学童保育所の巡回、育児学級のプログラムにも組み込んでもらい、保護者への啓蒙活動を盛んに行いました。	生涯学習

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第4節. 生涯スポーツ

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	スポーツ施設の利用者数	人／年	275,778	285,232	280,000	A	今後ともスポーツ教室、イベント等を開催し、利用者数の拡大を図っていきます。	生涯学習
2	総合型地域スポーツクラブ組織化数	組織	1	1	3	C	塩山ふれあい館を基点に甲州スポーツクラブが活動をしています。今後体育協会を中心に立ち上げていきます。	生涯学習

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第5節. 地域文化

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	文化協会登録人数	人	971	615	1,400	C	高齢化が進み、退会者が増加の傾向にあり、啓発活動も行っていますが、新規加入者も少なく、減少傾向にあります。	生涯学習
2	文化財保護団体数	団体	6	6	7	D	少子高齢化や地域コミュニティの変化により、清掃活動等の回数が減少しています。	生涯学習

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第6章 ともにつくる参画と協働のまちづくり

第1節. 協働のまちづくり

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	市政に意見を言う機会や手段についての満足度	%	29.1			B	市民と市長が語り合う「市民懇談会」を平成20年度から開催しています。平成23年度は全4回で、延べ219人の市民が参加しました。また、市民からの意見収集の方法として「市長への手紙」制度があり、平成23年度は、44件あり、回答として25件、参考意見として18件、原課対応として1件でありました。指標については平成24年度の市民アンケートで調査します。	政策秘書
2	市民活動登録団体数	団体	17	13		C	市内活動団体への支援及び社会貢献活動への参加の機会を広げるため、各種個別相談業務及びイベント等における周知活動を実施しました。	市民生活

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第2節. 地域活動

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	コミュニティ活動に参加している市民の割合	%	-	-		B	平成22年度に「協働のまちづくりを進める基本方針」を策定し、平成23年度において指針の配布等を行い、広報・HP等を通じて市民への周知に努めました。	市民生活

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第3節. 男女共同参画・人権の尊重

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	男女の地位が平等になっていると 考えている市民の割合	%	-	-	↗	B	男女共同参画推進委員会により、平成19年度に策定された甲州フルー ティ夢プランに基づき、各種イベント等における啓発活動等を年間を 通じて実施しました。	市民生活
2	審議会等の付属機関における女性 委員の割合	%	30.4	32.9	↗	B	HP・広報等による啓発活動、市長・教育長及び市議会議長・副議長と の意見交換会を行い、女性の登用や推進についての意見交換会の実 施、フォーラム等への参加を行ないました。	市民生活

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他

第4節. 自治体経営

	成果指標の名称	単位	現況値 (平成18年度)	実績 (平成23年度)	目標値 (平成24年度)	評価	取り組み内容等の説明	担当課
1	行政改革による経費等の削減効果 額	千円	320,940	794,950	640,510	A	平成24年度目標値は、第一次行政改革（18年～22年）の最終年度の目 標値を掲げたものであり、実績では、154,440千円上回りました。5年 間の総計では、107,340千円上回っており財政効果は上がっていま す。平成23年度からの第2次行政改革では、歳出削減、人員削減だけ でなく、市民の視点で納得度の高い、甲州市ならではの質の高いサー ビスを提供すること等にも意を用いて改革を推進します。	政策秘書
2	市税徴収率（現年度分）	%	97.4	98.1	98.0	A	財産の差押さえ処分を中心とした滞納整理を積極的行いました。財 産調査等を徹底することで、滞納者について「取るか捨てるか」の判 断を法令に基づいて明確に行うことにより、徴収が速やかに効率的に 実施できるようになりました。コンビニエンスストアにおける収納に ついては、着実に利用実績を上げ、納付しやすい環境にしています。徴 収額については、個人市民税、軽自動車税について増収しました。市 税全体でも2千5百万程度の減収に止まりました。	収納
3	地方債現在高の減少	円	207.7億	211.4億	201.7億	B	普通交付税の振替措置で借り入れる臨時財政対策債が平成21年度から 急激に伸びたこと、また地震対策による小中学校等の耐震補強事業な どが増大したことなどの要因により、23年度実績は24年度目標値を 970,000千円上回っています。 しかし、学校施設の耐震化が予定年度より前倒しで完了できる見込と なったこと、合併振興基金積立金も予定より早期に積立が完了できる 見込となったことなど、一定の成果は挙げることができました。 今後も実質公債費比率などの各種財政指標の推移を見ながら、計画的 に地方債の活用を行っていきます。	財政

【評価基準】 A：順調に推移 B：やや低調な推移 C：目標変更の必要あり D：低調な推移 e：その他